

南国育ち

本調子

合合 乙四上中五工 七五工五中上四工四上四 合上

シオノカオリニスハダヲソメリヤ コイヲシルノモ  
四合四上中工中上四工乙四合上合四合工乙合四上中工

ハイモ ノ ナ ソゴ ク ソダ チ ノ  
老四上工四王合上四上合上中合上 四 合上中 工

ユ メミルハナ ハ ムネノホノオト  
合五 王五七五 工 合五工尺中上四工乙合四上中工

モエテサク ヤレ デイグヌ ハ ナ ヤ  
老四上工四王中尺工 合六七 中尺工 合六工 合老

レ デイ グヌハ ナ  
四 合尺中王老上四 合上四 中尺工 合六七 中尺

工 合六工 合老四 合中尺工老上四 合上四

一、潮の香りに素肌をそめりや

恋を知るのも早いもの

南国育ちの夢見る花は

胸の炎と燃えて咲く

ヤレ でいぐぬ花

ヤレ でいぐぬ花

二、島は若夏サバニに乗せて

慕う想いを届けたい

南国育ちの心をこめて

今宵織りなす芭蕉布は

ヤレ だれのため

ヤレ だれのため

三、一夜情のあなたを想い

むせび泣くよな沖つ風

南国育ちの弾く三線は

愛しニ―セ達の帰り待つ

ヤレ 恋の唄

ヤレ 恋の唄

四、ゆれる面影いさりび遠く

大漁知らせる南風

南国育ちの心のうちは

島を色どる花のように

ヤレ 肝美らさ

ヤレ 肝美らさ